

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2010年9月)

発表日2010年11月16日(火)

～4ヶ月ぶりの前月比マイナス～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 小杉 晃子  
TEL : 03-5221-4548

(単位: %)

		第3次産業活動指数											生活関連 サービス・娯 楽業	学術研究・専 門・技術サー ビス業
		前期比	前年比	電気・ガス・ 熱供給・水 道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品 賃貸業	宿泊業・飲食 サービス業	医療、福祉	前期比		
09	1-3月	▲3.1	▲6.6	▲4.0	▲1.6	▲3.6	▲8.3	▲0.9	0.4	▲3.2	1.2	▲1.1	▲0.9	
	4-6月	▲0.6	▲6.1	▲0.5	2.7	▲0.4	▲2.8	1.2	▲0.3	0.1	1.1	▲0.3	▲1.2	
	7-9月	0.6	▲4.7	▲0.9	▲2.7	0.6	1.7	▲0.5	▲0.1	0.1	0.7	0.0	6.5	
	10-12月	▲0.3	▲3.4	3.1	1.9	0.6	0.0	0.5	▲0.2	0.1	0.3	▲1.3	▲4.1	
10	1-3月	1.1	0.7	3.6	▲1.5	3.1	0.7	1.9	▲0.2	0.8	0.7	0.0	▲0.9	
	4-6月	▲0.1	1.3	▲0.5	3.2	▲1.1	▲0.8	0.0	0.3	▲0.5	2.1	▲1.2	▲3.0	
	7-9月	1.0	1.9	2.0	▲1.3	1.7	2.5	▲1.6	▲0.3	2.6	0.7	0.9	4.2	
09	1月	▲0.1	▲4.5	▲0.4	0.7	▲0.9	0.1	▲0.4	0.6	▲3.3	1.4	▲1.5	0.3	
	2月	▲0.7	▲7.4	▲1.6	▲0.2	▲0.4	▲5.2	0.9	▲0.5	▲0.6	▲0.2	0.3	▲1.6	
	3月	▲3.4	▲7.7	▲0.5	▲5.1	▲0.3	▲6.9	0.1	▲0.2	0.7	0.5	▲1.4	1.7	
	4月	2.0	▲6.2	▲0.2	6.0	▲0.2	3.1	0.8	0.0	0.0	0.8	0.9	▲1.1	
	5月	▲0.2	▲7.1	1.3	2.0	0.2	1.4	▲0.2	0.1	0.6	▲0.3	▲0.5	▲2.5	
	6月	0.2	▲5.1	▲0.9	▲2.4	0.0	0.0	0.5	▲0.1	▲1.7	0.5	0.0	3.3	
	7月	0.5	▲5.3	▲0.3	0.2	0.4	1.2	▲1.3	▲0.3	1.3	0.2	0.0	0.0	
	8月	0.2	▲4.1	▲0.9	▲0.7	0.0	0.1	1.2	0.2	▲1.4	0.6	0.3	7.4	
	9月	▲0.3	▲4.7	0.6	▲4.5	0.4	▲0.2	▲0.9	0.1	2.0	0.1	0.0	0.8	
	10月	0.2	▲4.4	1.9	5.5	0.4	0.7	0.3	▲0.2	0.0	▲0.1	▲1.5	▲5.0	
	11月	▲0.2	▲3.0	1.4	▲0.1	0.0	▲0.4	0.0	▲0.1	▲2.0	0.3	▲0.1	▲1.0	
	12月	▲0.7	▲2.7	0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.9	1.2	▲0.2	1.7	▲0.4	0.4	▲3.9	
10	1月	2.9	▲0.1	2.4	2.1	3.5	5.1	1.9	0.2	0.0	2.1	0.1	3.8	
	2月	▲0.5	0.6	1.1	▲0.7	▲0.9	▲3.1	▲2.6	▲0.6	0.1	▲1.9	▲1.0	▲0.6	
	3月	▲2.6	1.8	▲0.8	▲8.8	0.8	▲4.3	3.0	0.5	0.7	0.4	0.9	▲3.3	
	4月	2.4	1.8	1.2	10.2	▲1.0	3.6	0.4	0.4	0.1	1.5	▲1.1	▲1.2	
	5月	▲0.9	1.1	▲2.4	1.7	▲0.3	▲0.9	▲1.0	▲0.7	▲1.6	1.2	▲1.1	0.3	
	6月	0.2	1.0	0.5	▲3.6	▲0.4	1.2	▲2.6	0.7	▲0.2	0.6	1.2	1.1	
	7月	1.4	1.5	1.5	2.0	1.7	2.3	▲0.1	▲0.3	3.7	▲0.4	▲0.4	4.6	
	8月	0.1	2.5	2.4	▲0.3	1.3	0.1	0.5	▲0.1	▲0.2	0.7	3.2	▲0.3	
	9月	▲0.9	1.5	▲1.6	▲3.7	▲1.3	▲1.6	0.5	▲0.4	▲0.7	▲0.4	▲3.6	▲3.1	

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

## ○第3次産業活動指数：前月比▲0.9%

9月の第3次産業活動指数は前月比▲0.9%と、コンセンサス(同▲0.5%、レンジ:同▲1.1%~▲0.2%)を下回る結果となった。

主要13業種のうち、卸売業、小売業(前月比寄与度▲0.40%ポイント)、情報通信業(同▲0.39%ポイント)、生活関連サービス業、娯楽業(同▲0.18%ポイント)、学術研究、専門・技術サービス業(同▲0.17%ポイント)、運輸業、郵便業(同▲0.12%ポイント)などの9業種がマイナスに寄与しており、プラスに寄与した業種はその他サービス業(前月比寄与度+0.07%ポイント)、金融業、保険業(同+0.05%ポイント)、複合サービス業(同+0.00%ポイント)の3業種のみであった。

四半期ベースで見ると、7-9月期は前期比+1.0%と、エコカー補助金制度など消費支援策に支えられ個人消費が好調だったことなどを受け、4-6月期の前期比▲0.1%から一転してプラスとなった。だが、そうした政策効果の剥落や輸出・生産の減速などを背景に9月単月では4ヶ月ぶりにマイナスとなるなど、足もとで第3次産業活動指数の持ち直しにはやや足踏み感が出始めている。

## ○家計部門、企業部門ともに悪化

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門が

<sup>1</sup> 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、学習

前月比▲1.4%、企業部門<sup>2</sup>が同▲1.9%であった。家計部門は、9月上旬のエコカー購入補助金の打ち切りによって自動車小売業が前月比▲16.2%と急減したことが全体を押し下げた。そのほか、残暑による秋物衣料販売の不振や景気減速感の強まりなどを受けた消費者マインドの低下などの要因もあり、小売業、生活関連サービス、娯楽業、宿泊業、飲食サービス業などの消費関連業種が前月比マイナスとなった結果、全体では4ヶ月ぶりにマイナスに転じた。

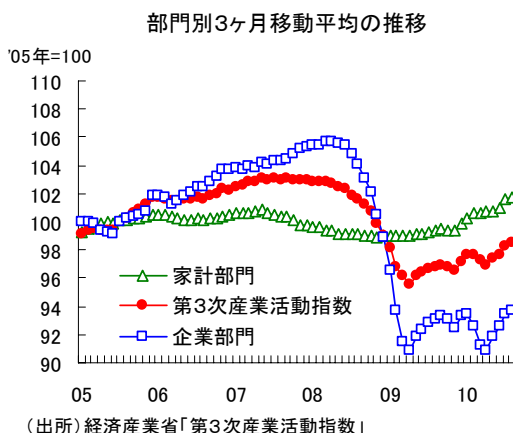
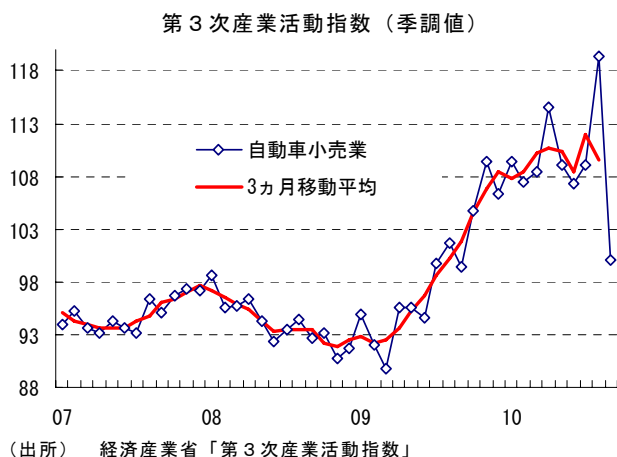
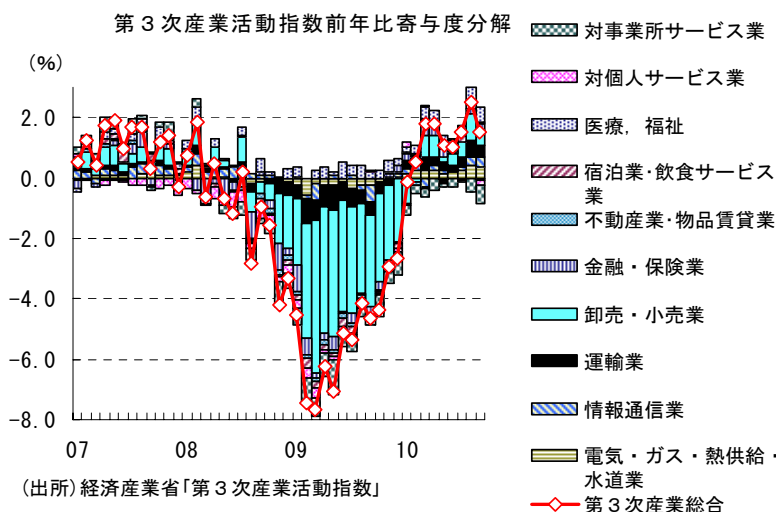
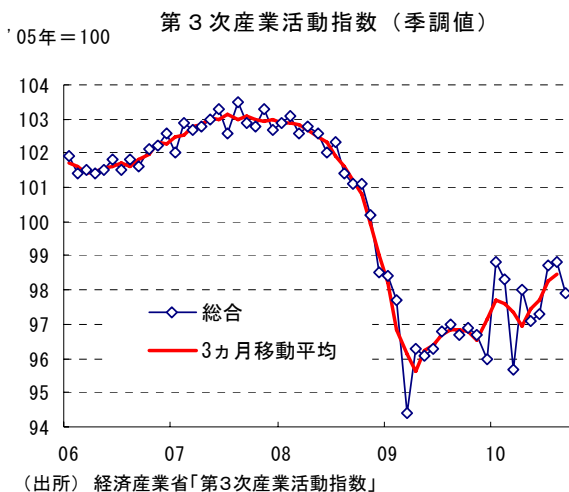
さらに企業部門も、情報サービス業、貨物運送業、卸売業、学術研究、専門・技術サービス業など、多くの業種がマイナスに寄与したため、全体では4ヶ月ぶりに前月比マイナスとなった。ソフトウェア受注の減少や輸出の減速などが影響していると考えられる。

### ○先行き景気減速に伴って、弱い動きとなる可能性が高い

第3次産業活動指数の先行きを展望すると、家計部門は、①先行き雇用・所得環境の持ち直しペースは緩やかなものに留まると予想されること、②駆け込み需要の反動に伴う自動車やたばこ販売の大幅減が見込まれること、などを背景とした個人消費の落ち込みが下押し要因となろう。個人消費の減速によって今後、家計部門の活動は抑制されることが予想される。

また、企業部門についても、世界経済の減速による輸出の鈍化に加えて、エコカー補助金終了に伴う自動車の減産などを受けて、回復力に乏しい動きが継続しよう。

景気の減速に伴って、今後、第3次産業活動指数は弱い動きとなる可能性が高い。



支援業、生活関連サービス・娯楽業

<sup>2</sup> 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業